

# JR東労組

# 本部OB会

# ニュース

No. 218 2015年 8月発行

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

# たしろ議員と共に 福島原発被災地へ



JR東労組本部OB会は、7月19日～20日の両日に渡って、3・11東日本大震災と福島第一原発事故によって大きな被害を受けた福島県を訪れ、避難生活を余儀なくされたOB会員を招いて、総勢60名の参加者で「激励と意見交換会」を開催しました。

この日東北からの参加者は、仙台駅から定期高速バスで、関東と上信越からは東京駅からの貸切バスで、相馬市を訪れました。

またこの日の本部OB会の取り組みにはたしろ参議院議員も参加し、東京駅からの貸切バスに乗って、一日中被災したOB会員とその家族を激励しました。

翌日は、地元原ノ町支部OB会の小林さんの案内で、「伝承鎮魂祈念館」を訪れた後、南相馬市が造っている防潮堤を見学しました。

## たしろ議員含め60名が参加

この日の行動には、各地本OB会の代表と被災した5名(1名は家族)と、たしろ参議員と崑山秘書を加えた総勢60名が参加者しました。



この日たしろ議員は、多忙にも関わらず、早朝から貸切バスに乗って参加し、車中はOB会員との「政治談義」に花を咲かせ、車内を盛り上げていただきました。

## 耳を傾ける真剣なたしろ議員

16時30分からの「激励・意見交換会」では、被災者から原発事故当日の体験談や、政府の復興事業に対する不満などの意見が出されました。たしろ議員は、それらの意見に真剣に耳を傾け、今後の活動への決意を新たにしました。

夜の懇親会は被災者の山内さんの奥様も参加され、被災者を囲んで楽しく行われました。

その日は、松川浦の「晴風荘」と「栄荘」に宿泊して休みました。

## 消えた集落を見ながら

二日目は、被災者の方々とは別れ、原ノ町支部OB会の小林さんの案内で被災地を見て回りました。

まず「伝承鎮魂祈念館」を訪れました。その後、集落のあった荒地と防潮堤工事現場を眺めながら、南相馬市を訪れ、組合員や森びとが植樹した防潮堤を見ました。

一日目

意見交換しました



みなさん今日はごろうさまです  
主催者の古川会長



ようこそ福島県へ!  
歓迎の挨拶をする  
水戸地本OB会鈴木会長



被災者と本部OB会の役員  
(中央は山内さんの奥さん)



被災者の皆さん



時杉正信さん  
(原ノ町支部OB会)



畠中正雄さん  
(原ノ町支部OB会)



中野一男さん  
(原ノ町支部OB会)



山内芳之さん  
(いわき支部OB会)



たしろ議員を囲んで(前列が被災者)



見えない放射能から逃れた  
被災者の体験談を聞く参加者

二日目

現地を歩きました



4月にオープンした「伝承鎮魂祈念館」



3・11で相馬市で亡くなった468名の慰霊碑



現地を案内してくれた  
原ノ町支部OB会的小林さん(中央)



やがて命を守る木々となる



防潮堤に見入る参加者



復興事業の現場(奥は火力発電所)

たしろかおるの支持者を拡大しよう!